霧島市「今週の一問」

1月30日版

学年 2年　教科 国語　名前

めあて　文章を正しく読み取ろう

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

食堂で何を注文しようか、次の休日に何をしようか、将来はどんな仕事をしようか――。私たちは生活の中でいろいろなことを決断しています。何かを決断するときに、参考になりそうな要素はいくらでもあります。あれこれ全てを考えていては際限がありませんから、参考にすべき要素を選びながら決断しなくてはなりません。では、その場で最も適切と思われる要素を、人はどのように選ぶのでしょうか。それには、脳のどのようなはたらきが関わっているのでしょうか。この疑問を問うことで、脳の奇妙な癖が理解できます。

次の実験例を見てみましょう。大好きなクッキーを選ぶ実験です。

実験①では二枚のクッキーがあります。クッキーAとクッキーBは、置き方が異なりますが、同じクッキーです。この場合、当然ですが両者は半々の割合で選ばれます。

（　ⅰ　）、実験②のように、新たにクッキーCを並べて、三枚にしたらどうでしょう。ⓐさすがに小さなクッキーCを選ぶ人はいませんが、意外なことに、クッキーAを選ぶ人が減り、クッキーBを選ぶ人が増えます。これは「おとり効果」と呼ばれます。ここでは、クッキーCがおとりの役割を変えてしまう現象です。

なぜこのような判断をするのでしょう。ヒトはいくつかの要素を比較して、少しでも得なほうを選ぼうとします。ここでは、一目で判断できる要素である、「幅」と「高さ」に着目します。クッキーAは、（　あ　）ではクッキーCに勝っていますが、（　い　）では劣っています。一方、クッキーBは幅でも高さでもクッキーCよりも優れています。ですから、クッキーBに軍配が上がります。これがクッキーBを選ぶ人が増える理由です。

▼実験①

▼実験②

これは脳がもともともっている癖です。なぜなら、同じ実験をヒトに近い チーパンジーに対して行っても、ヒトと似た結果が得られるからです。判断をすばやく行うために、必要な要素を直感的に選び抜くのです。脳は必ずしも合理的に物事を判断しているのではありません。同じ選択でも、状況によって判断が変わります。本人は論理的に考えているつもりかもしれませんが、知らず知らずのうちに判断の方法が変わり、非合理的な決断に陥ってしまうこともあります。

なぜこのような奇妙な癖があるのでしょうか。

例えば、天敵のライオンに狙われているシマウマが、どの方角に逃げるべきか野生動物を想像してください。例えば、天敵のライオンに狙われているシマウマが、どの方角に逃げるべきかを落とし穴にしてください。例えば、天敵のライオンに狙われているシマウマが、どの方角に逃げるべきかを落とし穴にしてください。すばやく要素をしぼり、限られた時間の中で正確な判断をすることが求められます。

ⓑこのような脳の判断の癖は、「おとり効果」にとどまりません。これまでに少なくとも数百種類の癖が発見されています。言うまでもなく、だから、だめだとは言えません。脳の癖は、脳が効率よく作動しようと努力した結果であり、裏返しの意味で、脳そのものに罪はありません。

ⓒこのような脳の癖は自然な現象だったとしても、もし、この癖に気づかないままで生活していたとしたら、ⓓ問題を起こすことになるかもしれません。全員が自分の考えを信じているとしたら、人間関係を悪くしかねないからです。誤解や偏見が生まれ、不調和や闘争さえ生じるでしょう。

自分たちは正しい判断をしているとしたら、優れた判断には脳の癖が影響するものだと互いに知っていれば、よけいな誤解を避ける予防策になります。――だって脳がそうなっているのだからしかたがない。そのうえで、どうすれば上手に対処できるかを考えることができます。

生命には物事を自分で決めたつもりでも、実は脳の仕組みによって知らぬ間に決めてしまっています。脳は一生懸命に、だからといって判断が常に正しいわけではありません。まちがうこともあるのです。脳を知れば知るほど、人間って案外かわいいなと思えてくることでしょう。

（池谷　裕二『自分の脳を知っていますか』による）

一　ⓐ「さすがに小さなクッキーCを選ぶ人はいませんが」の「さすがに」が直接係る文節はどれですか。

ア　小さな　イ　クッキーCを　ウ　選ぶ
エ　人は　オ　いませんが

二　（　ⅰ　）（　ⅱ　）に当てはまる語の組み合わせとして適切なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

ア（ⅰ　また　ⅱ　そこで）　イ（ⅰ　では　ⅱ　そして）
ウ（ⅰ　では　ⅱ　しかし）　エ（ⅰ　また　ⅱ　だから）

三　（　あ　）（　い　）には、「高さ」と「幅」のどちらが入りますか。それぞれ選びなさい。

四　ⓑ「直観のもたらす最大の恩恵」に当たる文として適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　少ない経験を補うために、物事をじっくり観察して判断することができた。
イ　少ない経験を補うために、必要な情報をすばやく仕入れて判断することができた。
ウ　経験を積み重ねることでじっくり判断ができ、正しく行動することができた。
エ　経験を積み重ねることですばやく判断ができ、効率的に行動することができた。

五　ⓒ「このような脳の判断の癖」をまとめた次の文の空欄に当てはまる言葉を、アは二字で、イは五字で文章中から抜き出して書きなさい。

（　ア　）によってすばやく判断を行うため、不要な要素を取り除き、（　イ　）に陥ってしまうこと。

振り返り	四	一
	五ア	二
	五イ	三あ
		三い